

国立国会図書館 黒手八丈狸金性水 2巻 208-574

ガラス使用

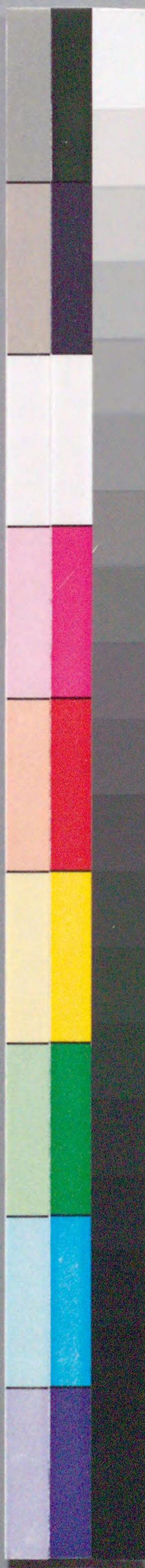


水金性狸八丈手  
二全  
三

208  
574

水金性





夫於八稻荷大明神はりすあるは  
 依きて佛のほとあせしや獲るは  
 此の志常く徳を合ふらうも  
 此の徳切目ふありて牡丹候世行せし川  
 此の徳を好きてたてむきとひまわく守  
 二 此の徳に仲人をしめたるはくむらさきさ  
 此の徳にちまきて候を福山猫守のらひ降ふ  
 身まきく大切くちまや奈もあはれ葉か  
 ちやとあさるらせと知底をせぬも  
 程も何を収とす程か我はかりし  
 たるをきよく人知は八事まの徳治也  
 とゆふ

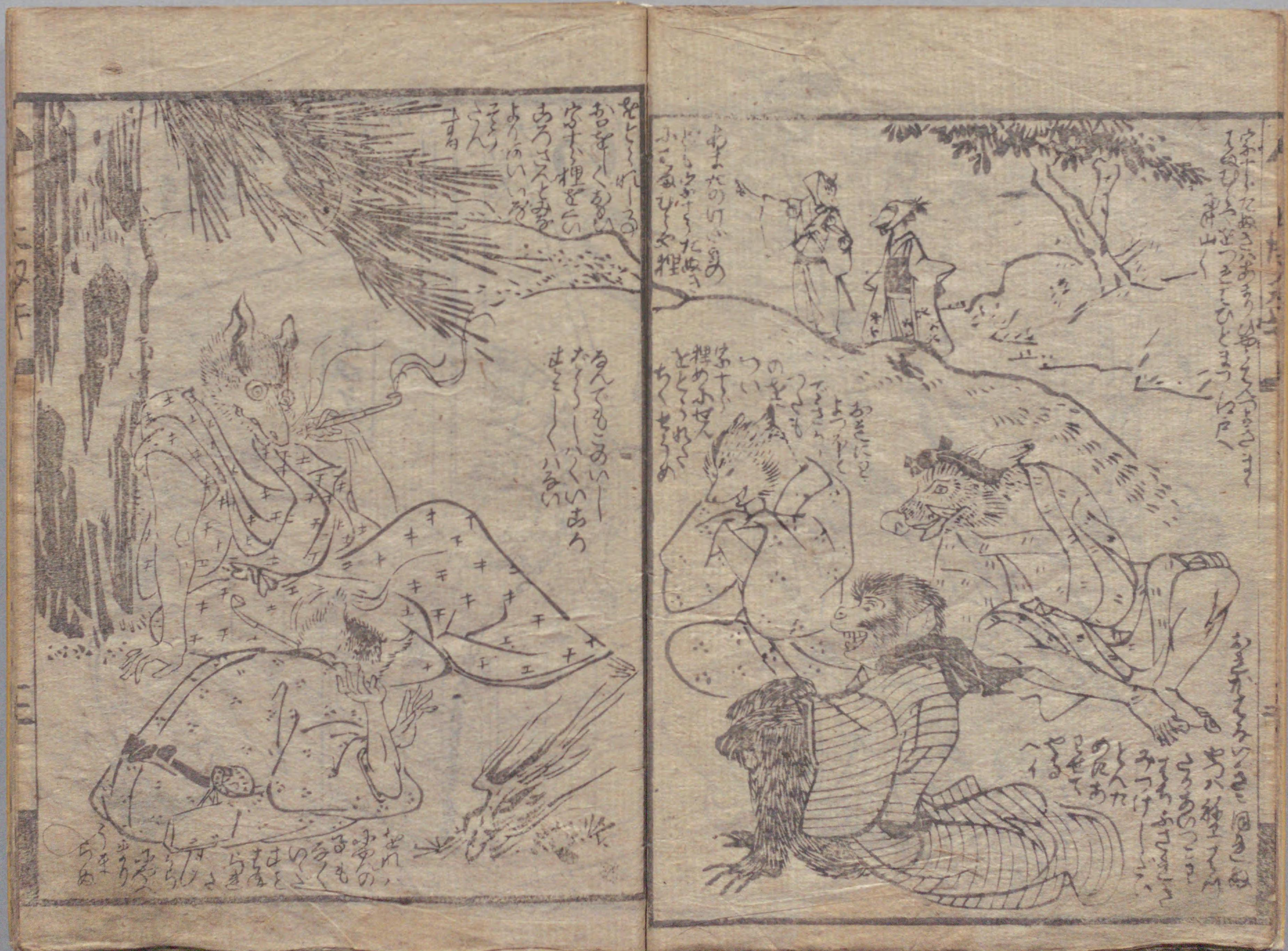
年ま川春

櫻川慈悲本述





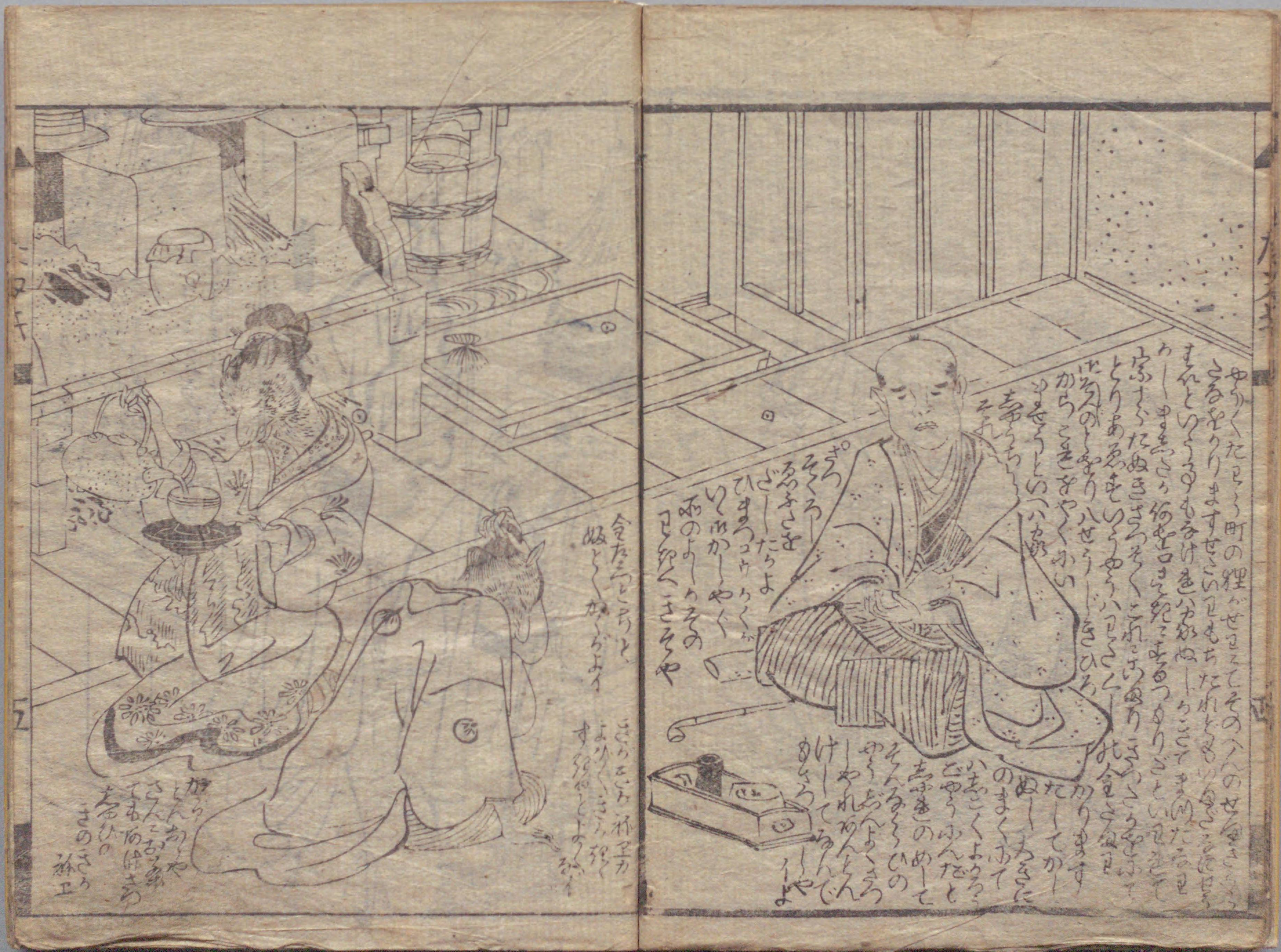








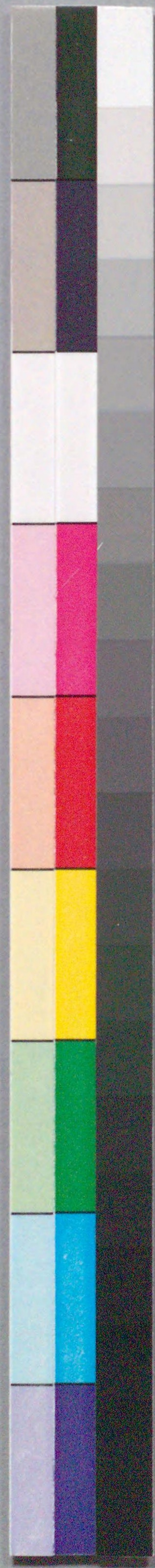












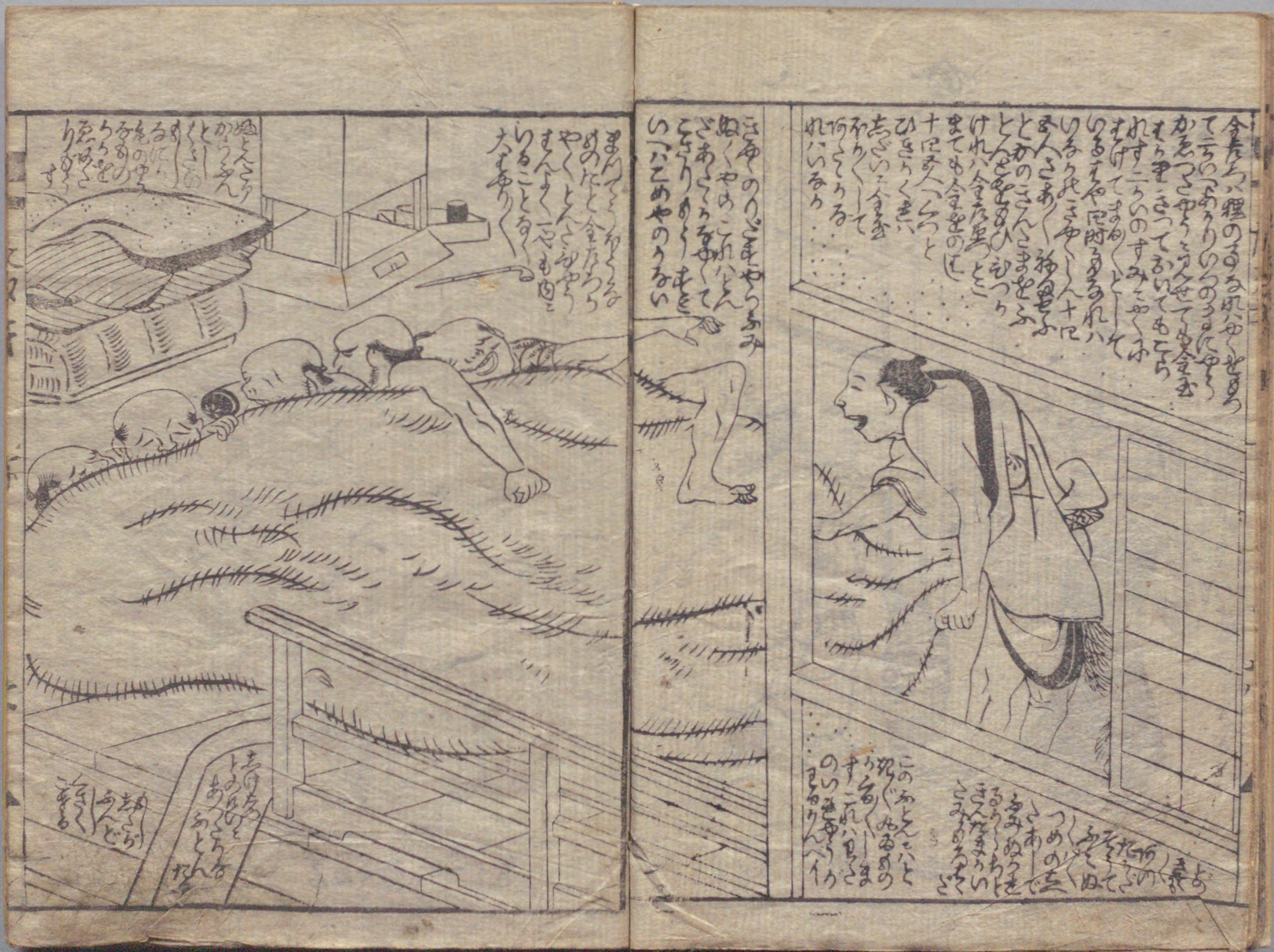
国立国会図書館 黒手八丈狸金性水 2巻 208-574

ガラス使用





















かくれたる  
 足り何人のを  
 のまろくで  
 成りし手て  
 こらりませと  
 中しめこ  
 るつてヤス  
 おまが何のやモ  
 存しつうんて程  
 あらやせのうた  
 こてりんと巻巻  
 で何ううが  
 あらうんせも  
 のひうし  
 ささのかん  
 まくさま  
 ことまら  
 まる

大ぬさくぬきをどとりて  
 本をさうさしてあける  
 せんまきり  
 けの天りうら  
 狸あぬとおつけ  
 りるぬきも  
 いまぬき  
 りのあま  
 さのこの  
 一うべ  
 ひんと  
 せとこ  
 正さくち  
 まりりお  
 わりもの  
 なだめたぬき  
 をめいたぬき  
 狸のむし  
 をさてるの  
 ほみからすに  
 このなる北二丹  
 ちのこりて  
 お子んくこの

狸け  
 おめひの  
 尻もあ  
 としやら  
 まし  
 おも  
 るり  
 とさ  
 かで  
 山れ  
 う





208  
574

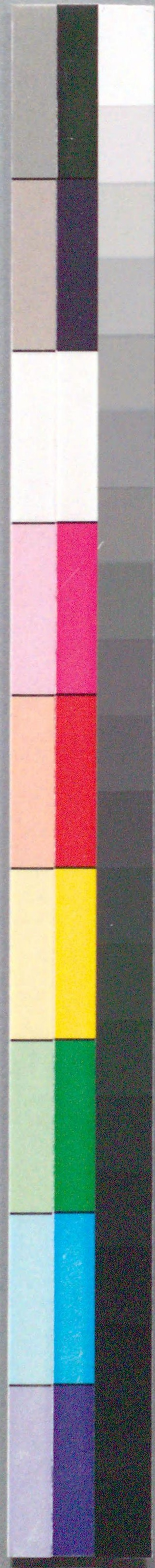




208  
574

西奥





国立国会図書館 黒手八丈狸金性水 2巻 208-574

ガラス使用